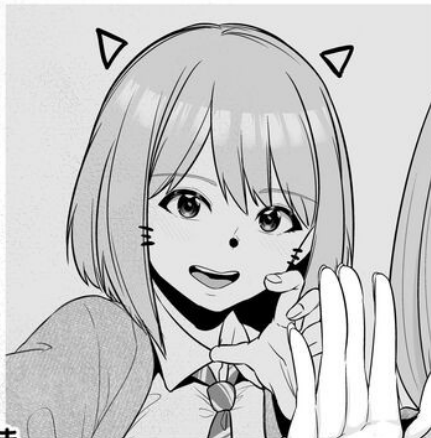




高●2年
クラスの男子とか
イースタでは
みゆたんって
呼ばれることが
多いかな？

学年一の美女とか
天使とかって
よく言われてるけど…

まあ正直自分でも
そう思ってるかも(笑)

イースタ垢も
フォロワー3万人いったし
学校では一番イケてる
サッカー部の男子が彼氏だし♡
好きなモノはイースタと彼氏♡
それからブランドモノとか？
あとそれから…

「ねえっなに読んでるの？♡」
「えっ華田さん？！」

ビックリされるけど
色んな男の子に話しかけるのも好き♡
何で自分に話しかけるんだらう？
ってキョドってるの(笑)

それからパパ活で稼ぐのも好き♡
彼氏もクラスメイトも知らないけど(笑)

男ってほんとにちよろい
若くて可愛い私みたいな女の子に優しくされれば
すぐ嬉しくなってお金出しちゃう哀れな生き物
こうやってチャホヤしておけば
みんな私の味方♡
ホントに男に生まれなくてよかった♡

でも…いつものように
裏垢で知り合ったパパと
会うことになった日…

「で…何で同じクラスのあんたが
ここにいるわけ？
そんなに絡みもないでしょ？」

「何でってw
みゆたんの今日のお相手が
僕だからだよっw」

まさか同じクラスの奴に
裏アカがバレるなんて…
しかもよりによって
普段絡むのも嫌なくらい
キモい陰キャ…

「悪いけど
パパ活って言っても
誰でもいいわけじゃないから
…帰ってくんない？」

「グフフwいいの？
このまま帰ったら
裏垢のこと僕がみゆたんの
彼氏とかクラスメイトとかに
言っちゃうかもしれないよ？w」

「脅しのつもり？
アンタみたいな陰キャと
私の言うことだったら
皆どっちを信じると思うっ？」

「グフフw脅しってわけじゃないよw
ちゃんとお金も用意してきたんだ♡

「えっそんなに?!」

面倒なヤツだと思ったけど…
ヤれると思ったらこんな大金出しちゃう
位にはバカなのね

まあチヨロそうだし
男なんて一回やらせれば
後は言うこと聞くようになる
単純な生き物だし…

「わかった
ただしこの一回だけね
それと裏垢のことも
今回のことも誰にも言わないこと
言うこと聞ける？」

「おっけー！やった♡
みゆたん大好き♡」

全く男って本当に哀れな生き物…
まあどうせ童貞だろうし(笑)
さっさと終わらせて帰るか

#パパ活♡

「うひょおおお♥♥♥
みゆたんま●こ最高おお♥♥♥」

正直舐めてた…こいつ…
ち●こも大きいし…!

「さっきっから
イキっぱなしでしょ? w
みゆたん♥」

良いところ見つけるの…
上手すぎるっ♥

でも…調子に乗らせちゃ
絶対ダメっ!

「そっそんなこと…ない!
彼氏の方が…
上手いし…あっ♥」

「グフフっw
嘘はダメだよだって」

おっ?
?!
?

「も…素直じゃないなあ
そう言う子には」

「全然…そんなことない…っ
さっさと終わらせてほしい
だけ…だから!♥」

「みゆたんのおま●こ
『このおちんち●
気持ちいいよおお♥』って
ぎゅうぎゅう締め付けて
離してくれないもんw♥」

グニ〜♥

もっ

もっ

『お仕置きが
必要だね♥』

なにこれえ…♥
全然知らないところ当たって…
自分じゃどうにも出来ない♥
勝手にイカされちゃううう♥

『グフフっWそんな声出して
イってないとは言えないよねW』

『グフフW楽しんでるね♥』

それ以来私は—

『似合ってるよ
みゆたん♥』
『ちよっと…
いくら何でもこれは…』

『どうもみゆたんさんえ良ければ
今後も遊んであげるけど?』
人生で初めて味わった絶頂感!!
体の相性ってヤツを初めて体験した
『かつ…考えておく…』

おっ…♥おっ…♥

この男とのセックスにハマってしまった

「女の子にこんな格好させて…
本当に変態なんだから♡」

「グフフWそんなこと言って♡みゆたんの方こそ
彼氏とのデート断って僕に抱かれに来る
変態さんでしょ?W」

「それは…あんたが言う事聞けないと
もう会わないって言うから…」

「みゆたんは雌犬なんだから
ご主人様の言う事聞くのは当然でしょ?」

「ご主人様って…♡」

「ほらみゆ!」

服従のポーズ!W」

「わっわん!♡」

言う事を聞けないと
もうセックスしないと脅され
下品な芸を沢山仕込まれて…

いつの間にか

この男を悦ばせる為の
雌犬になっていた

「よしよし♡良い子のみゆには
『おもちゃ』をあげようね♡」

「あっ♡おち●ぼ様あ♡」

「ほくらみゆの大好きな
おもちゃだよ♡
今日もこれでいっぱい
遊んであげるからね♡」

「上手にぺろぺろ出来たら
『ご褒美』だよ♡♡」

目の前におち●ぼ様を
差し出されたら—

「おおお♡♡やばいっ
みゆたん出すよ♡♡」

ビュルルルルッ

すぐに射精させられる♡



こいつに仕込まれた
手を使わず口だけで射精させる
ノーハンドフェラ♡

「おおっ W上手になったねみゆ♡
すっごいバキューム♡♡
最初はあるなにフェラ
嫌いだったのにね♡」

思いつきり吸い上げながら
顔を前後させて♡
舌ではずつと裏筋と亀頭を
刺激し続けられ...



「ふうふう

一番奥で飲み込めて偉いね♡♡」

「それじゃ良い子のみゆには
『ご褒美』タイムだよ♡」

フェラで一発抜いたら
いよいよ『ご褒美』タイム♡♡♡



「そっすか♡
遊んでもらったら
後片付けしないとね♡
残ってる精液も
全部搾り取るんだよ?♡」

カニ

「ちよっと…写真は
撮らないでって…♡」

「いいでしょ?♡
この写真みゆのイースタに載せてよ♡
みゆはこんなことして喜んじやう
変態雌犬女だって皆に知って貰おう♡
勿論本垢の方ね♡」

「それは流石に…」

そんなことしたら…
彼氏にバレるどころか
人生終わる…けど…

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

「ん?言う事聞けない?
ご主人様の言うこと聞けない雌犬とは
もう遊んであげないけど?」

あ♡

「わっわん♡わかりました♡
写真も上げるからあ♡
これからも雌犬みゆを
可愛がってください♡
ご主人様あ♡」

今はご主人様が
一番好き♡♡♡

LOVE

E-stagram



#パパ活♡







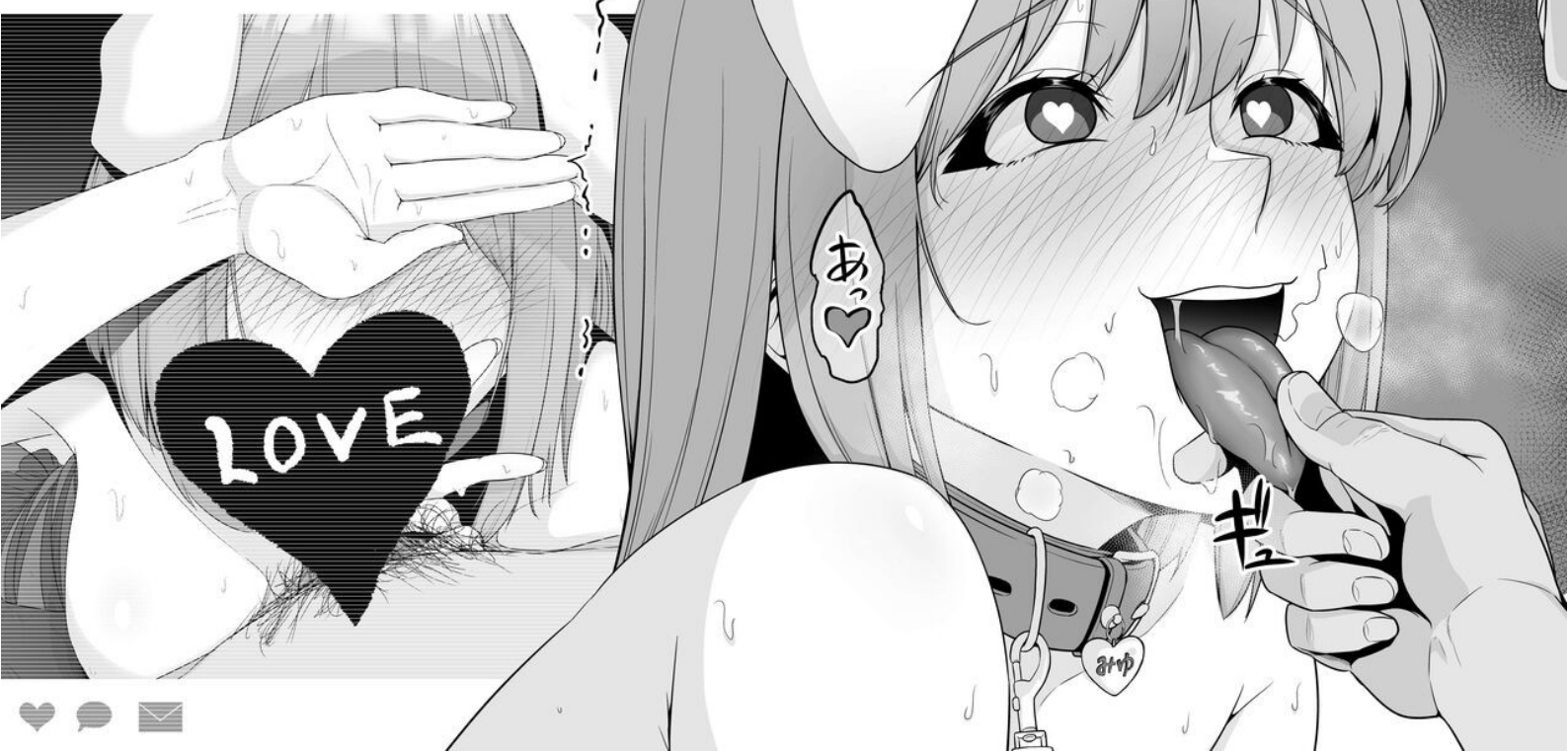


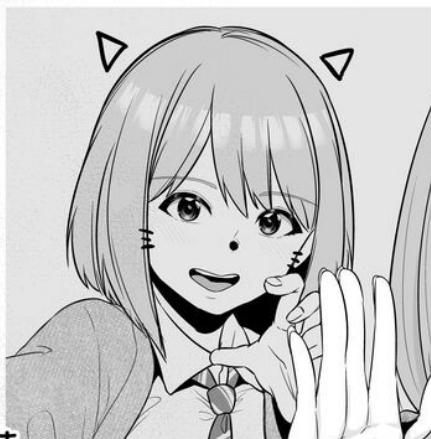






 E-stagram





高●2年
クラスの男子とか
イースタでは
みゆたんって
呼ばれることが
多いかな？

学年一の美女とか
天使とかって
よく言われてるけど…

まあ正直自分でも
そう思ってるかも(笑)

イースタ垢も
フォロワー3万人いったし
学校では一番イケてる
サッカー部の男子が彼氏だし♡
好きなモノはイースタと彼氏♡
それからブランドモノとか？
あとそれから…

「ねえっなに読んでるの？♡」
「えっ華田さん？！」

ビックリされるけど
色んな男の子に話しかけるのも好き♡
何で自分に話しかけるんだらう？
ってキョドってるの(笑)

それからパパ活で稼ぐのも好き♡
彼氏もクラスメイトも知らないけど(笑)

男ってほんとにちよろい
若くて可愛い私みたいな女の子に優しくされれば
すぐ嬉しくなってお金出しちゃう哀れな生き物
こうやってチャホヤしておけば
みんな私の味方♡
ホントに男に生まれなくてよかった♡

でも…いつものように裏垢で知り合ったパパと会うことになった日…

「で…何で同じクラスのあんたがここに…いるわけ？
そんなに絡みもないでしょ？」

「何でってw
みゆたんの今日のお相手が僕だからだよw」

まさか同じクラスの奴に裏アカがバレるなんて…
しかもよりによって
普段絡むのも嫌なくらい
キモい陰キャ…

「悪いけど
パパ活って言っても
誰でもいいわけじゃないから
…帰ってくんない？」

「グフフwいいの？
このまま帰ったら
裏垢のこと僕がみゆたんの
彼氏とかクラスメイトとかに
言っちゃうかもしれないよ？w」

「脅しのつもり？
アンタみたいな陰キャと
私の言うことだったら
皆どっちを信じると思う？」

「グフフw脅しってわけじゃないよw
ちゃんとお金も用意してきたんだ♡」

「えっそんなに?!!」

面倒なヤツだと思ったけど…
ヤれると思ったらこんな大金出しちゃう
位にはバカなのね

まあチヨロそうだし
男なんて一回やらせれば
後は言うこと聞くようになる
単純な生き物だし…

「わかった
ただしこの一回だけね
それと裏垢のことも
今回のことも誰にも言わないこと
言うこと聞ける？」

「おっけー！やった♡
みゆたん大好き♡」

全く男って本当に哀れな生き物…
まあどうせ童貞だろうし(笑)
さっさと終わらせて帰るか

#パパ活♡

「うひょおおお♥♥♥
みゆたんま●こ最高おお♥♥♥」

正直舐めてた…こいつ…
ち●こも大きいし…!

「さっきっから
イキっぱなしでしょ? w
みゆたん♥」

良いところ見つけるの…
上手すぎるっ♥

でも…調子に乗らせちゃ
絶対ダメっ!

「そっそんなこと…ない!
彼氏の方が…
上手いし…あっ♥」

「グフフっw
嘘はダメだよだって」

おっ?
?!
?

「も…素直じゃないなあ
そう言う子には」

「全然…そんなことない…っ
さっさと終わらせてほしい
だけ…だから!♥」

「みゆたんのおま●こ
『このおちんち●
気持ちいいよおお♥』って
ぎゅうぎゅう締め付けて
離してくれないもんw♥」

グニ〜♥

もっ

もっ

『お仕置きが
必要だね♥』

なにこれえ…♥
全然知らないところ当たって…
自分じゃどうにも出来ない♥
勝手にイカされちゃううう♥

『グフフっwそんな声出して
イってないとは言えないよねw』

『どうもみゆたんさんえ良ければ
今後も遊んであげるけど?』

人生で初めて味わった絶頂感!!
体の相性ってヤツを初めて体験した

『かつ…考えておく…』

『グフフw楽しみにしてるね♥』

それ以来私は—

『似合ってるよ
みゆたん♥』

『ちよっと…
いくら何でもこれは…』

おっ…♥おっ♥

♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

この男とのセックスにハマってしまった

「女の子にこんな格好させて…
本当に変態なんだから♡」

「グフフWそんなこと言って♡みゆたんの方こそ
彼氏とのデート断って僕に抱かれに来る
変態さんでしょ?W」

「それは…あんたが言う事聞けないと
もう会わないって言うから…」

「みゆたんは雌犬なんだから
ご主人様の言う事聞くのは当然でしょ?」

「ご主人様って…♡」

「ほらみゆ!」

服従のポーズ!W」

「わっわん!♡」

言う事を聞けないと
もうセックスしないと脅され
下品な芸を沢山仕込まれて…

いつの間にか

この男を悦ばせる為の
雌犬になっていた

「よしよし♡良い子のみゆには
『おもちゃ』をあげようね♡」

「あっ♡おち●ぼ様あ♡」

「ほくらみゆの大好きな
おもちゃだよ♡
今日もこれでいっぱい
遊んであげるからね♡」

「上手にぺろぺろ出来たら
『ご褒美』だよ♡♡」

目の前におち●ぼ様を
差し出されたら—

「おおお♡♡やばいっ
みゆたん出すよ♡♡」

ビュルルルルッ

すぐに射精させられる♡



こいつに仕込まれた
手を使わず口だけで射精させる
ノーハンドフェラ♡

「おおっ W上手になったねみゆ♡
すっごいバキューム♡♡
最初はあるなにフェラ
嫌いだったのにね♡」

思いつきり吸い上げながら
顔を前後させて♡
舌ではずつと裏筋と亀頭を
刺激し続けられ...



「ふうふう...

一番奥で飲み込めて偉いね♡♡」

「それじゃ良い子のみゆには
『ご褒美』タイムだよ♡」

フェラで一発抜いたら
いよいよ『ご褒美』タイム♡♡♡



身動きの取れない体勢で
一方的にピストンして貰う

わんわん交尾♡♡

「グフグフっW声凄っW♡
みゆはわんわん交尾
大好きだもんね♡♡」

まっ
れん♡

「このっ雌犬は
人間の言葉は喋らないでしょ？
気持ちいい時は
どうするんだった？」

「そのっ♡いっ子いっ子♡
まだまだいっばい
遊んであげるからね♡」

わおほっ♡わおほっ♡
わん♡わん♡
おっ♡おっ♡

こいつの性欲は凄まじくっ♡
この後何度も
わんわん交尾でイカされ続けた…♡♡

「そっか♡
遊んでもらったなら
後片付けしないとね♡
残ってる精液も
全部搾り取るんだよ?♡」

カニ

「ちょっと…写真は
撮らないでって…♡」

「いいでしょ?♡
この写真みゆのイースタに載せてよ♡
みゆはこんなことして喜んじやう
変態雌犬女だって皆に知って貰おう♡
勿論本垢の方ね♡」

「それは流石に…」

そんなことしたら…
彼氏にバレるどころか
人生終わる…けど…

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

「ん?言う事聞けない?
ご主人様の言うこと聞けない雌犬とは
もう遊んであげないけど?」

「わっわん♡わかりました♡
写真も上げるからあ♡
これからも雌犬みゆを
可愛がってください♡
ご主人様あ♡」

あ♡

今はご主人様が
一番好き♡♡♡

LOVE

おめ

E-stagram

